

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

埼玉県 川越市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)	
-	79.89	99.98	2,106	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
351,654	109.13	3,222.34
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
351,804	109.13	3,223.71

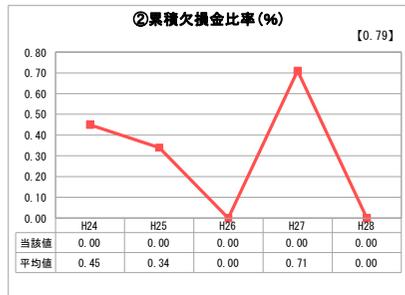
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

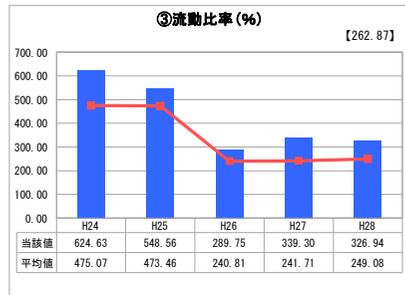
## 1. 経営の健全性・効率性



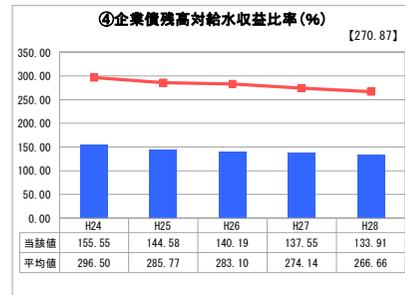
「経常損益」



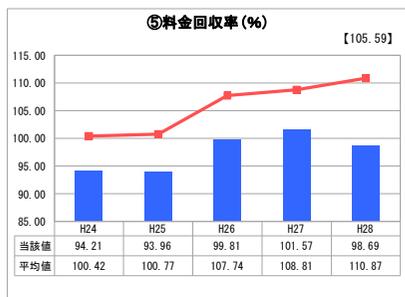
「累積欠損」



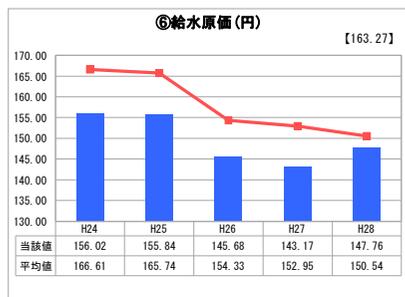
「支払能力」



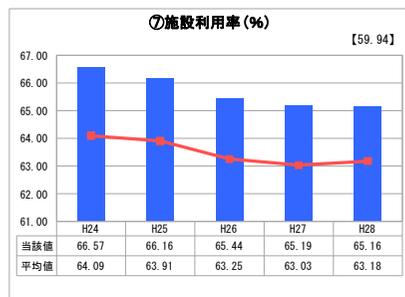
「債務残高」



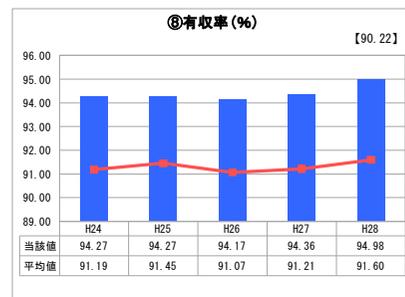
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

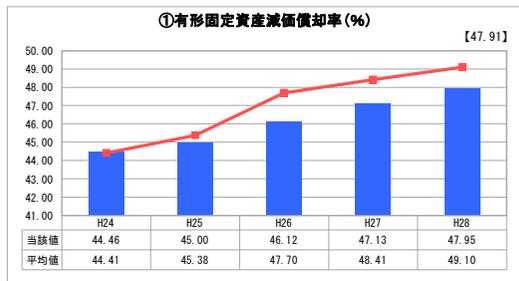


「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

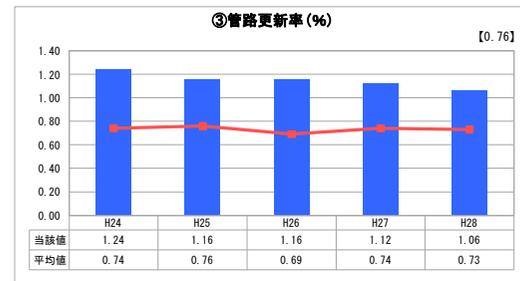
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率  
100%を上回り、黒字ではありますが、類似団体と比較すると低い水準になっています。
- ②流動比率  
100%を大きく上回り、類似団体より高い水準です。短期的な支払能力があり、問題ありません。
- ③企業債残高対給水収益比率  
類似団体と比較して低い数値に抑えられています。将来負担が少なくなっていると言えますが、必要な更新事業を行っているか検証する必要があります。
- ④料金回収率  
平成28年度は100%を下回りました。給水原価の圧縮と、適正な供給単価について検討する必要があります。
- ⑤給水原価  
類似団体と比較して低い数値に抑えられています。費用のうち約4割は県水購入費であるため、単価の見直しがあると、数値に大きく影響します。
- ⑥施設利用率  
類似団体と比較して高い数値ですが、下降傾向が見られます。将来的には人口が減少する見込みであり、施設のダウンサイジングを検討する必要があります。
- ⑦有収率  
類似団体と比較して94%前後と高い数値で安定しており、上昇傾向にあります。今後も漏水調査や老朽管更新等を計画的に行い、有収率の低下を防ぎます。

### 2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率  
類似団体との比較ではやや低い水準ですが、増加傾向を示しており、施設全体の老朽化が進行しています。計画的な償却対象資産の更新が必要です。
- ②管路経年率  
類似団体と比較してやや高い水準であり、増加傾向にあります。今後も老朽管の発生が見込まれることから、計画的かつ早急な管路の更新が必要です。
- ③管路更新率  
類似団体と比較すると高い水準ですが、既に老朽化が進んでいることに対応するものです。今後も②管路経年率の増加が見込まれることから、さらに更新スピードを上げる必要があります。

### 全体総括

全体的に経営の健全性は保たれており、類似団体と比較しても経営状況は概ね良好であると言えます。  
課題としては、料金回収率の改善、管路や保有資産の老朽化が挙げられます。今後、計画的な施設の更新が必要であり、施設のダウンサイジングや経費の削減を検討したうえで、適正な料金水準についても検討を進める必要があります。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。